

資料2 策定に向けた考え方

2-1. スマートシティの類型

○スマートシティは、対象エリア、目的、取組内容や中心的な役割を果たす主体、都市規模等により様々な形が考えられますが、本書では、主に典型的と考えられる以下の2類型について記載します。
 ※以下の2つの類型には収集した事例をもとに平均的な姿として整理したものであり、実際は地域ごとに様々な違いがあります。

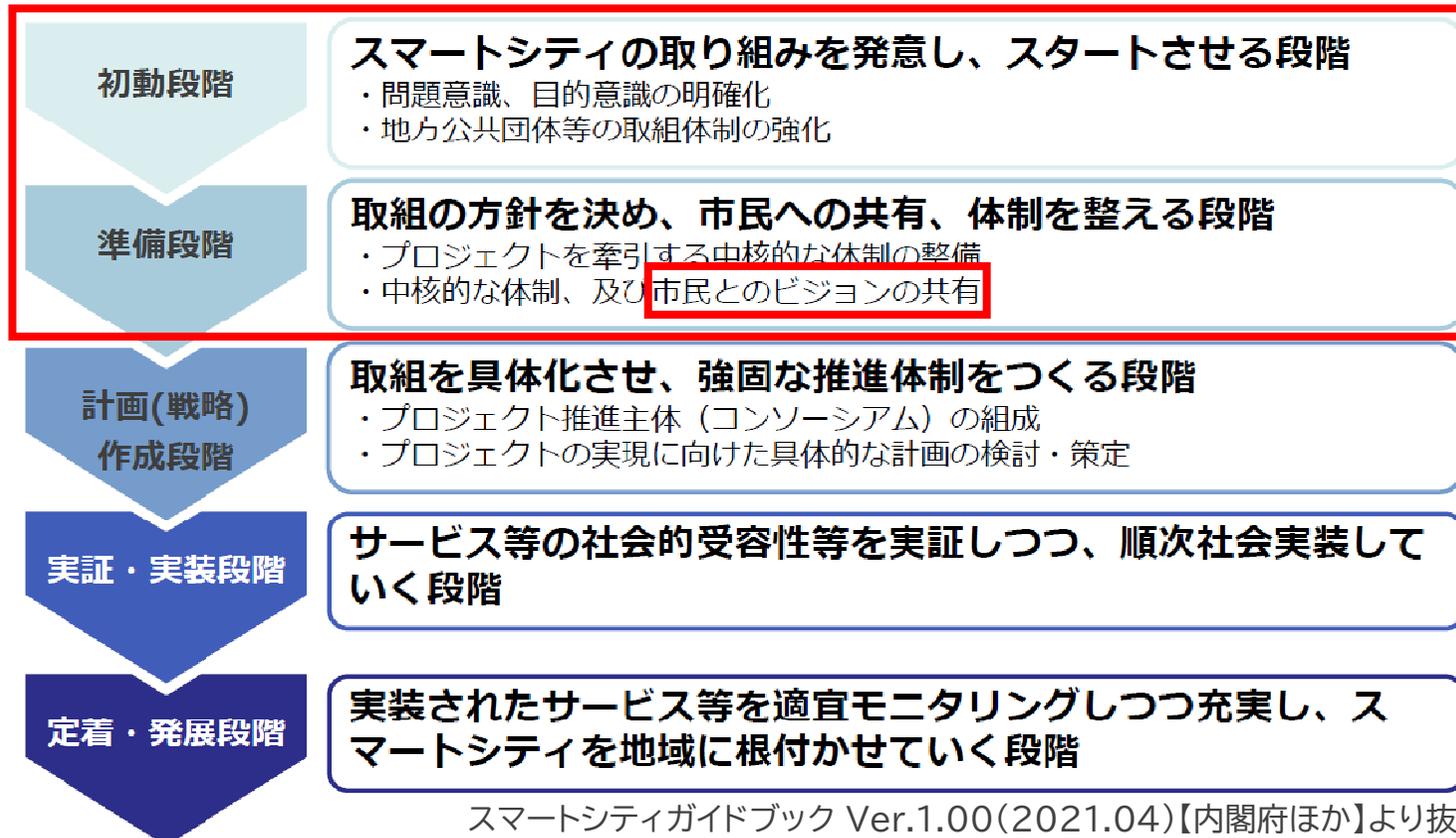
	行政主導型	エリアマネジメント型
対象エリア	○都市、都市圏スケールのエリアを対象	○特定の地区スケールのエリアを対象
目的・概要	○市民のWell-Being向上等を目的に、行政システムの効率化、各種行政サービスの提供等を行う取組	○地区の価値の向上等を目的に、地区住民の生活、地区内事業者の活動等をサポートするサービスの提供等を行う取組
推進主体	○地方公共団体が主導するコンソーシアム 等	○地域まちづくり団体及び地方公共団体が主導するコンソーシアム 等
地方公共団体の主な役割	○コンソーシアムの組成、ルールづくりや、 計画(戦略)策定等 を主宰・主導するほか計画の進捗状況を調整 ○各種行政サービスを提供 等	○地域まちづくり団体と協働し、コンソーシアムの組成、計画(戦略)策定等を牽引 ○行政計画、政策における地区の位置づけを明確化するほか、地域まちづくり団体の活動をサポート
主な取組主体	<p>サービス</p> <p>【地方公共団体/スマートシティ運営法人※1/民間】</p> <p>○提供サービス例：行政手続、防災、防犯、医療・福祉、健康、モビリティ、教育、産業、インフラ管理 等</p> <p>○サービス利用者：市域全体の住民/来街者</p> <p>都市OS</p> <p>↑ ↓</p> <p>【地方公共団体/スマートシティ運営法人】</p> <p>データ</p> <p>↑ ↓</p> <p>【地方公共団体/スマートシティ運営法人/民間】</p>	<p>サービス</p> <p>【地域まちづくり団体※2/地方公共団体/民間】</p> <p>○提供サービス例：タウン情報発信、街区マネジメント(インフラ管理、清掃、警備、物流、I社等) 等</p> <p>○サービス利用者：特定地区の住民・事業者/来街者</p> <p>都市OS</p> <p>↑ ↓</p> <p>【地方公共団体(地域まちづくり団体)】</p> <p>データ</p> <p>↑ ↓</p> <p>【地域まちづくり団体/地方公共団体/民間】</p>

資料2 スマートシティの進め方

2-1. スマートシティの進め方

スマートシティの実現に向けて、何に取り組み、何に留意する必要があるか、時系列ごとに整理します。

- 本書は主として地方公共団体向けに作成するものであるため、地方公共団体の担う役割が大きい行政主導型の場合を中心に記述しております。

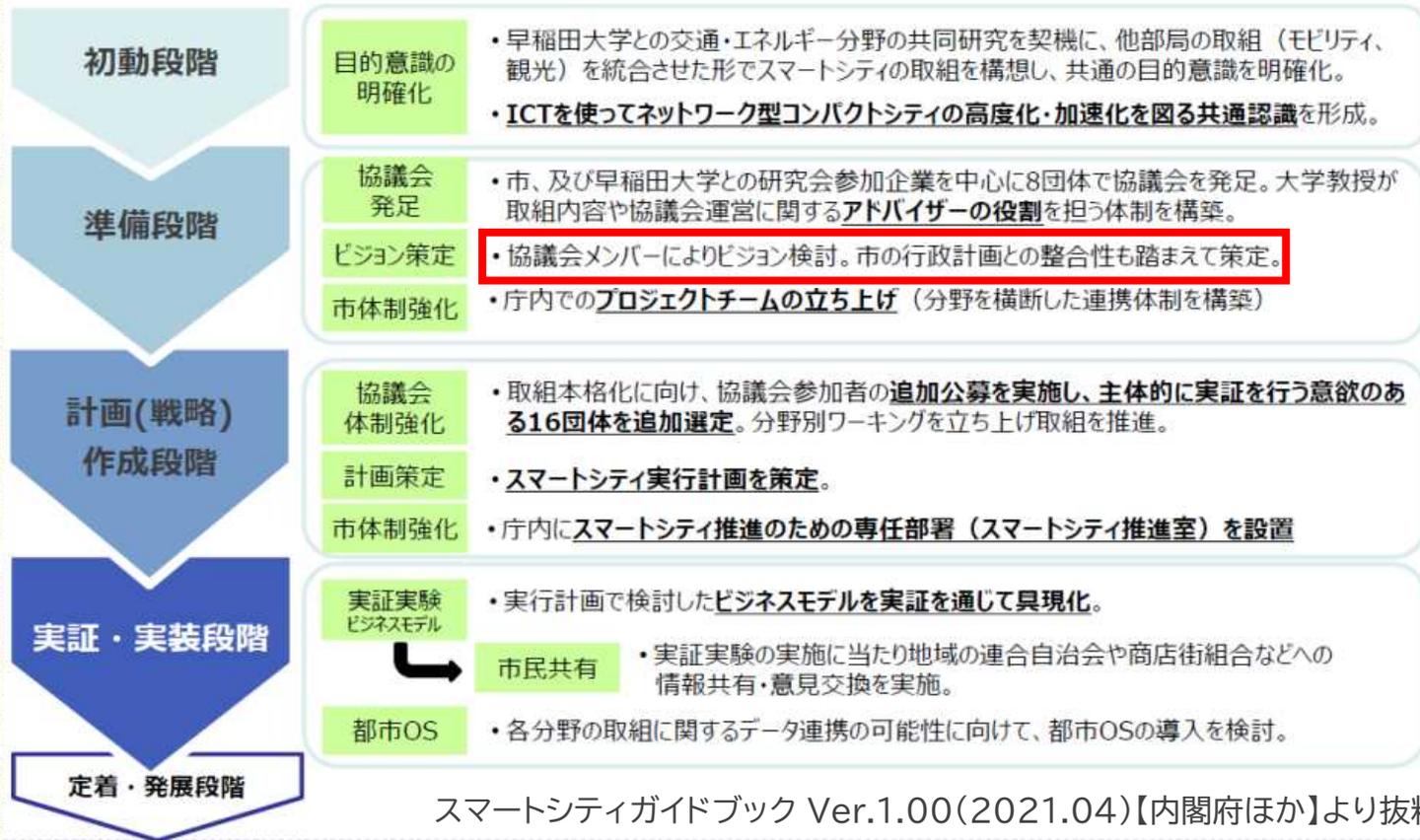


資料2 スマートシティの進め方(宇都宮市の事例)

2-1. スマートシティの進め方の例(宇都宮市)

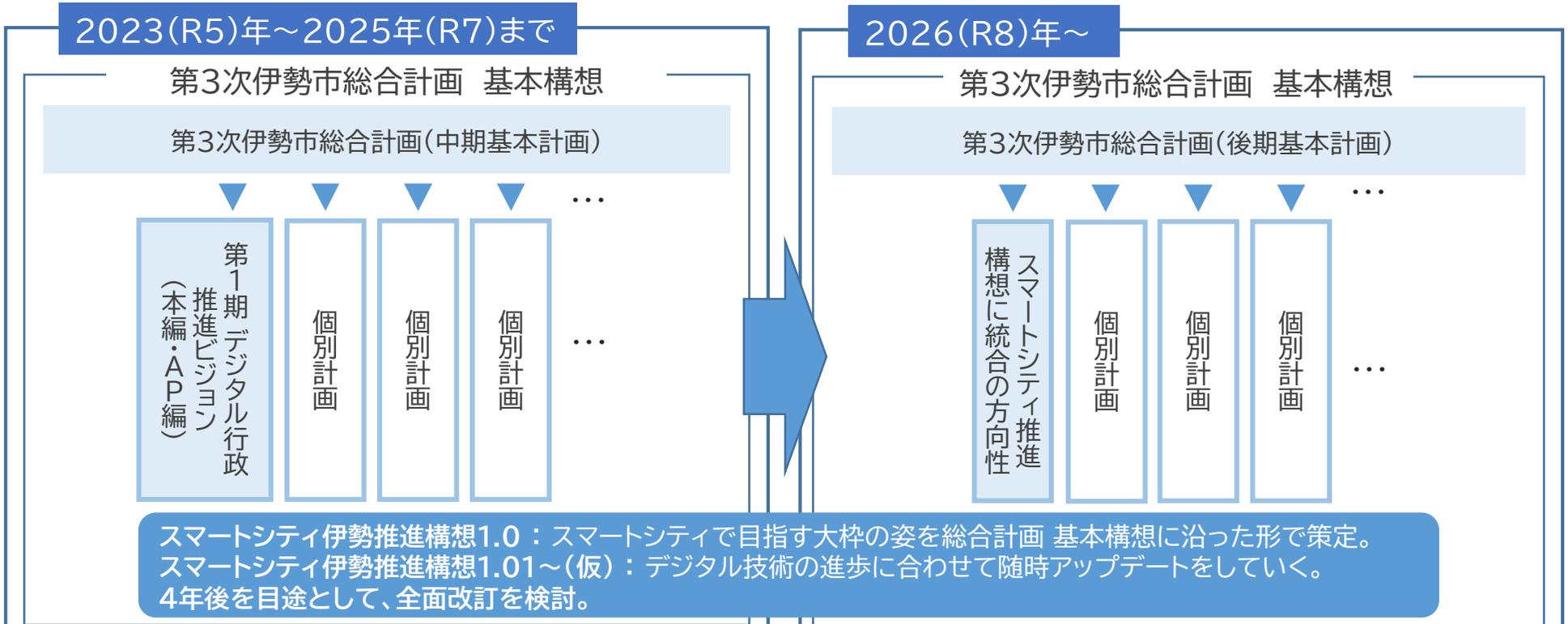
■ 宇都宮市での取組プロセス

- 宇都宮市はネットワーク型のコンパクトシティに取り組む手段として、スマートシティを推進。
- LRTを軸にモビリティ（AI運行等）、ホスピタリティ（生体認証等）、エネルギー（地域新電力等）の取組を実施中。



スマートシティガイドブック Ver.1.00(2021.04)【内閣府ほか】より抜粋

資料2 位置付け★



- スマートシティ推進構想1.0については、全分野を横断する形で策定。
- 位置づけとしては、基本構想に沿って、スマートシティで目指す大枠の指針。
- この期間は、地域デジタル化を進めるための実証事業実施期間とし、実行計画は定めない。

- スマートシティ推進構想は、デジタル技術の進歩に合わせて随時アップデートしていくイメージ。
- デジタル行政推進ビジョンは、内部の進捗状況に応じて最終的な判断はするものの、スマートシティ伊勢推進構想に統合していく方向性で検討。
- また、スマートシティの実現に向けて実証事業などを行っていくが、進捗管理に必要であれば、実行計画を策定。